



平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月14日

上場会社名 株式会社ベクトル 上場取引所 東
 コード番号 6058 URL http://www.vectorinc.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 西江 肇司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 山本 高太郎 TEL 03-5572-6080
 四半期報告書提出予定日 平成27年7月14日 配当支払開始予定日 ー
 半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績（平成27年3月1日～平成27年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	2,280	28.6	341	102.9	324	99.0	187	88.1
27年2月期第1四半期	1,774	12.7	168	△1.4	163	△5.4	99	3.3

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 174百万円 (63.4%) 27年2月期第1四半期 106百万円 (9.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	12.62	12.55
27年2月期第1四半期	7.47	7.42

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第1四半期	7,115	5,667	78.5	376.67
27年2月期	7,106	5,627	78.1	374.15

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 5,588百万円 27年2月期 5,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	ー	0.00	ー	9.00	9.00
28年2月期	ー				
28年2月期(予想)		0.00	ー	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年2月期の連結業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,910	28.5	670	27.5	650	27.5	350	24.7	23.59
通期	10,470	25.9	1,700	35.5	1,640	38.2	900	36.5	60.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年2月期1Q	14,836,200株	27年2月期	14,836,200株
② 期末自己株式数	28年2月期1Q	－株	27年2月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年2月期1Q	14,836,200株	27年2月期1Q	13,326,893株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は内外の状況変化等により、本資料の数値と異なる場合があります。なお、本資料の予想に関する事項は添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策を背景とした企業収益の回復や雇用・所得環境の改善が見られるなど、穏やかな回復基調で推移いたしました。

このような市場環境のもと、当社グループにおいては、「アジアNo. 1のPRグループになる」という目標の達成に向け、国内外を問わず引き続き堅調に成長を実現いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,280百万円（前年同期比28.6%増）、営業利益は341百万円（前年同期比102.9%増）、経常利益は324百万円（前年同期比99.0%増）、四半期純利益は187百万円（前年同期比88.1%増）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分変更を行っており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

・PR事業

PR事業においては、当社グループが以前より強みとする戦略PRのほか、急速に需要を伸ばすアドテクノロジー分野においても新サービスの提供を開始するなど、引き続き進化を続ける市場環境にいち早く対応しながら顧客の「いいモノを世の中に広める」ための活動を国内外を問わず幅広くサポートし、堅調な成長を達成しました。

前期から本格的に開始したアドテクノロジー分野では、企業のマーケティング活動においてアドテクノロジーの手法を活用する動きがますます増えており、戦略PRとあわせて付加価値の高いサービスを実現しながら業績を伸ばしました。また、4月には、株式会社マイクロアドとの合弁会社である株式会社ニューステクノロジーがスマートフォン特化型動画アドネットワークサービス『TRAILERS』を開始し、需要増とあわせて今後もさらなる成長が見込まれます。

また、コンサルティング業務を基本とする戦略PRサービスに対して、株式会社IR BANKが手掛ける上場企業のIR情報管理ツール「Corporate Direct+」や動画サービス「IRTV」など、ストック型の安定的な収益を生み出すテクノロジー分野の事業も順調に収益を伸ばしています。

海外においても、顧客のアジア・ASEAN地域におけるPRサービスに対する需要を積極的に取り込み、日系企業や官公庁が海外進出する際に行う様々なPR施策をサポートしました。

以上の結果、PR事業全体では、売上高は2,055百万円（前年同期比29.1%増）、営業利益は291百万円（前年同期比110.8%増）となりました。

・ニュースリリース配信事業

株式会社PR TIMESが手掛けるニュースリリース配信事業においては、ニュースリリース配信サイト「PR TIMES」を初めとした多数のWebサイトに顧客のニュースリリースを配信・掲載しております。平成27年3月には利用企業社数が9,000社を突破し、「PR TIMES」は月間配信本数及び1日あたりの配信本数が過去最高記録を更新いたしました。

以上の結果、ニュースリリース配信事業における売上高は252百万円（前年同期比24.0%増）、営業利益は60百万円（前年同期比101.9%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ8百万円増加し7,115百万円となりました。

流動資産におきまして当第1四半期連結会計期間末残高は、5,556百万円と前連結会計年度末に比べ472百万円の減少となりました。これは、現金及び預金が955百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が180百万円、未成業務支出金が65百万円増加したことが主な要因となります。

固定資産におきまして当第1四半期連結会計期間末残高は、1,559百万円と前連結会計年度末に比べ480百万円の増加となりました。これは、有形固定資産が90百万円、投資有価証券が353百万円増加したことが主な要因となります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末に比べ31百万円減少し1,447百万円となりました。

流動負債におきまして当第1四半期連結会計期間末残高は、1,420百万円と前連結会計年度末に比べ32百万円の減少となりました。これは、支払手形及び買掛金が76百万円、未払法人税等が202百万円、賞与引当金が77百万円減少したものの、短期借入金が302百万円増加したことが主な要因となります。

固定負債におきまして当第1四半期連結会計期間末残高は、27百万円と前連結会計年度末に比べ0百万円の増加となりました。これは、リース債務が0百万円増加したことが主な要因となります。

(純資産の部)

純資産におきまして当第1四半期連結会計期間末残高は、5,667百万円と前連結会計年度末に比べ40百万円の増加となりました。これは、利益剰余金が53百万円増加したものの、為替換算調整勘定が16百万円減少したことが主な要因となります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年4月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,616,009	2,660,089
受取手形及び売掛金	1,968,599	2,149,232
未成業務支出金	37,568	102,769
繰延税金資産	98,332	102,007
その他	312,987	547,259
貸倒引当金	△5,260	△5,236
流動資産合計	6,028,237	5,556,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	110,935	177,474
機械装置及び運搬具	5,674	5,674
工具器具備品	173,924	209,109
リース資産	55,581	58,123
減価償却累計額	△168,383	△182,508
有形固定資産合計	177,732	267,873
無形固定資産		
のれん	29,668	42,065
ソフトウェア	141,675	141,430
その他	4,795	23,090
無形固定資産合計	176,139	206,586
投資その他の資産		
投資有価証券	535,714	888,824
敷金及び保証金	121,517	115,288
繰延税金資産	55,940	56,017
その他	11,479	24,898
投資その他の資産合計	724,651	1,085,027
固定資産合計	1,078,523	1,559,488
資産合計	7,106,760	7,115,610
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	355,107	278,289
短期借入金	48,502	350,834
未払法人税等	318,264	115,592
賞与引当金	129,638	52,427
リース債務	11,689	10,572
その他	589,318	612,508
流動負債合計	1,452,522	1,420,224
固定負債		
リース債務	23,643	24,246
その他	3,421	3,177
固定負債合計	27,065	27,424
負債合計	1,479,588	1,447,649

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,738,760	1,738,760
資本剰余金	1,698,760	1,698,760
利益剰余金	2,069,182	2,122,951
株主資本合計	5,506,702	5,560,472
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	44,306	27,835
その他の包括利益累計額合計	44,306	27,835
新株予約権	16,100	16,100
少数株主持分	60,063	63,553
純資産合計	5,627,172	5,667,961
負債純資産合計	7,106,760	7,115,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	1,774,310	2,280,959
売上原価	736,348	920,012
売上総利益	1,037,962	1,360,946
販売費及び一般管理費	869,898	1,019,883
営業利益	168,063	341,063
営業外収益		
受取利息	1,288	4,080
為替差益	1,644	3,375
投資事業組合運用益	-	774
その他	49	153
営業外収益合計	2,982	8,383
営業外費用		
支払利息	1,329	1,193
持分法による投資損失	4,985	23,225
投資事業組合運用損	1,396	-
その他	115	206
営業外費用合計	7,827	24,626
経常利益	163,218	324,820
特別利益		
投資有価証券売却益	-	16,229
持分変動利益	8,024	-
特別利益合計	8,024	16,229
特別損失		
固定資産除却損	-	6,308
特別損失合計	-	6,308
税金等調整前四半期純利益	171,243	334,742
法人税等	71,590	143,956
少数株主損益調整前四半期純利益	99,652	190,785
少数株主利益	79	3,490
四半期純利益	99,573	187,295

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	99,652	190,785
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	7,037	△16,470
その他の包括利益合計	7,037	△16,470
四半期包括利益	106,690	174,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	106,611	170,824
少数株主に係る四半期包括利益	79	3,490

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	PR事業	ニュース リリース 配信事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,589,376	184,934	1,774,310	—	1,774,310	—	1,774,310
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,015	18,713	21,728	—	21,728	△21,728	—
計	1,592,391	203,648	1,796,039	—	1,796,039	△21,728	1,774,310
セグメント利益又は損失 (△)	138,061	30,197	168,259	△195	168,063	—	168,063

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材紹介事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2. 当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	PR事業	ニュース リリース 配信事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,052,862	227,707	2,280,569	390	2,280,959	—	2,280,959
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,778	24,745	27,523	26,151	53,674	△53,674	—
計	2,055,640	252,452	2,308,092	26,541	2,334,633	△53,674	2,280,959
セグメント利益又は損失 (△)	291,025	60,982	352,007	△8,469	343,538	△2,475	341,063

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材紹介事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△2,475千円には、セグメント間取引消去△2,475千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

ニュースリリース配信事業を行う株式会社PR TIMESは、売上規模、組織規模ともに順調に拡大を続け、独立セグメントとして取り扱うに足る段階に至っていると判断されるため、当第1四半期連結会計期間より「ニュースリリース配信事業」として独立させ、報告セグメントの区分を「PR事業」「ニュースリリース配信事業」の2区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。